

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そだちの空間LINKS 伊川谷北教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 1日 ～ 令和6年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日 ～ 令和6年 12月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的に保護者会や参観日を設けて行っている。	児童に気づきを持たせる声掛けを意識している。 毎日の活動プログラムにも細かな目的を組み込んでいる。	地域との交流がいまだ設けられていない為、児童について理解を頂ける為にも地域交流を深めていきたい。
2	活動プログラムの工夫	集団活動をメインに学校などでの生活につながるよう支援を行っている。	活動後の反省を活かした立案を強化していく。
3	児童だけで出来る事はチャレンジさせるようにしている。	クッキングやお買い物体験など自分たちで考えて行動できるようにしている。	自立に向けて成功体験を積んでいけるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、その他の地域の子供と活動する機会を持っていない。	それぞれの機関の活動時間が異なり時間が合わせにくいこと	諸機関との交流について、検討していく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和 7年 3月 1日						
		令和6年11月1日現在 利用児童数 25名（兄弟関係あり）				回収数	18	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%				個人の荷物置き場があり勉強の際は学校と同じ机と椅子をして下さり部屋の中央は広く使えるようになっていて安心です。	子供の人数に対して教室のスペースは確保されているため安心して過ごしていただけます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	88%			12%		法令に基づいた職員の配置を行っています。今後も職員の配置を適切に行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	88%			12%	来所したら靴を置く、荷物を置く、手洗い、うがい、勉強などをすべてスムーズに行えるよう配置されている。	安心して過ごしてもらう為に、目で見てもわかるような設備整備を行っていきたいと考えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%				いつも清潔で整理整頓されています。活動に合わせて上手に部屋を整えて下さっている。	必ず毎日児童が帰った後に使った部分消毒や清掃を行っている。今後も継続して行っていく。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%				・学校や家庭で行き届いていない部分に対しても支援してくれている。 ・それぞれの子供の特性を時間をかけて理解し、支援して下さりありがたいです。	一人一人の児童の特性を理解し小さな変化に気づき常に対応できるようにしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	94%			6%	公表されているよりも実際はもっとレベルの高いプログラムを実施しておられます。	支援プログラムを元に支援方法や療育活動を決めている。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	94%			6%	面談や送迎の際にしっかり話し合い作成して下さっています。	今後も、しっかり聞き取りを行い支援計画を作成していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	83%			17%	分かりやすくまとめていただき、具体的に支援内容が設定されています。	今、何がその児童に必要なしっかり把握したうえで今後も計画を立てていきたいと思っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	94%			6%	非常にレベルの高いサービス、支援を受けて大変満足しています。	今後も職員全体でお子様の成長を支援していけるように努力してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	94%			6%	・楽しく学べるプログラムを取り入れてくれている。 ・いつも多種多様な活動が計画されていて本人も楽しみにしている。特にクッキング(うどん作り)が楽しかったようです。 ・毎月違った内容の活動で季節に合わせた物も多く子供が楽しんで取り組めるよう工夫がたくさん詰まっている。	保護者や、児童からも楽しんで取り組んでいるという声をいただいているので、今後も継続しているような活動を考案して取り組んでいきたいと考えている。
保護者への 説明	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	44%	12%		44%	週一利用なのでわかりません。	関わりがないのが現状。今後、地域の方や児童館との交流が持てる機会を設けていきたいと考えている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%				事業所でしっかり時間をかけて説明していただきました。	保護者の方々にもご理解いただいているかと思う。今後も疑問点などがあれば随時対応していく。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%				面談の際と書類を渡して下さる時にも詳しく伝えて下さいます。	今後も、一人一人に合った計画を立て、説明もしっかりしていきたいと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	83%			17%	参観日や保護者会があり親子共に楽しい時間を過ごさせてもらっています。	今後もお子様の様子をみれる機会、保護者同士での話し合いの場を設けていきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%				・変化や成長に気づいてくれる。 ・常に連絡を取り合い親身になって理解していただいています。	これから小さな変化でも気づけるよう細心の注意を払って見ていき、その都度伝えていきたいと思っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	88%	6%		6%	・家庭でも取り入れたいアドバイス等をしてくれる。保護者に対する支援も行き届いている。 ・利用の際、ほぼ毎回送迎の短い時間でも色々な報告や助言をして下さり有難く思っています。	今後もお子様に関する確なアドバイスができるよう精進して参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	83%			17%	職員皆さんが子供に寄り添って支援して下さいます。	傾聴を心がけて対応しています。

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	88%			12%	大きな集会所などを貸し切って親子や家族も参加できるイベントがあり(ダンス発表会等も)毎回楽しみにしています。	今後も企画して行っていききたいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	94%			6%	困りごとや相談などいつでも対応して下さり必要に応じて適切にアドバイスや支援をいただいています。	今後も相談があった際にしっかり対応していききたいと思います。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	94%			6%	話しやすい雰囲気や方法をその都度配慮して下さいます。	今後も同じように対応していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	94%			6%	SNSや公式LINE、日々のファイルなどに詳しく書かれ助かっています。	今後もSNS等で活動時の児童の様子を伝えていき成長を見てもらえたらと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				不安を感じたことは全くありません。	外部に漏れ出ないよう細心の注意を払っています。 職員には研修を行っている。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	94%			6%	マニュアルはしっかり作られています。	各マニュアルを周知、徹底し研修等で行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94%			6%	定期的に避難訓練を行って下さり、その際も特性に合わせて無理のない訓練内容を考えて実施して下さいます。	毎月の活動の中に防災訓練を入れて避難の仕方、どのような対応をすれば良いか学んでいただいています。毎月ではないが実際に災害が起きたことを想定し避難場所までのルート、場所の確認を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	100%				常に安全を考えて家具やおもちゃを配置し安心して過ごさせています。	怪我のないよう安心して支援できるよう今後も続けていきたいと思っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%				怪我をした際などすぐに連絡をいただき、詳しく説明して下さいます。	今後もお子様や怪我等をした際には迅速に対応し詳しく状況説明をしていけるようにします。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				・家庭では話せない悩みなども職員の方に話すほど安心している。 ・なんの不安もなく通所しています。	今後も安心して話が出来る場所にしていききたいと思います。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	94%	6%			・仲間ができて喜んでいる。 ・職員の皆さま、お友達と会えるのをとても楽しみにしています。	今後も楽しみに通えるよう支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				・子供の成長を実感できている。 ・他事業所をいくつも通いましたがリンクスさん程すばらしい支援を受けられる事業所はないと思っています。	今後も満足していただけるよう支援していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
そだちの空間LINKS 伊川谷北教室		令和 7年 3月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		学習、活動、遊びと有効活用できるよう、スペースを区切ったり時間を決めるなど有効活用できるよう配慮している。	有効活用を続けていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%		法令で必要とされている職員の配置を行っている。	法令遵守していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		視覚支援カードを貼り子供たちが確認しやすい環境になるよう配慮している。	視覚支援カードを新しくすることを検討中。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		毎日の清掃、アルコール除菌を行っている。子供たちの手に触れる物の清潔に気を配っている。	職員に衛生、健康管理についての研修会を行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		職員室でクールダウンをするようにしている。	遊びから活動に移る前に必ずクールダウンする時間を設けている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間をPDCAの検証、改善に繋げている。	強化していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎月定例会議を行っている。	今後も続けていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎月定例会議を行っている。	強化していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%	現在は第三者による外部評価は導入していない。	保護者と事業所の評価だけでなく、第三者による外部評価は意識の向上の為にも導入を検討したい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修会、ズーム研修会、ビデオ研修会などに参加している。	偏りなく職員全員が研修会に参加できるように配慮をしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		毎月リンクスだよりで療育活動の内容を保護者に配布している。	今後も続けていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的、または状況に応じて面談、アセスメントを行い、それを元に職員で話し合い計画を立てている。	保護者のニーズに偏らず、日頃から子供のニーズの把握に努めていく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員全員でモニタリング会議、支援計画会議を行って作成している。	今後も続けていく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援開始前の打ち合わせ時に支援の仕方を共有し、計画書に沿った支援を実施している。	強化していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	75%	25%	検査結果と日々の言動、行動などの両面から捉えている。	今後も続けていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		児童の発達段階と障害特性の把握に努め、その児童に応じた支援内容を具体的に示している。	理解を得られるような支援内容の設定に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		計画立案の時は児童発達支援管理責任者と児童指導員で話し合って作成している。	今後もチームで取り組んでいく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個別活動と集団活動を織り交ぜて全員が楽しみながら療育活動に興味を持ち参加できるようにしている。	今後も活動後の反省や児童達の様子を踏まえて内容の見直しを続けていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		発達段階や特性に応じて、個別活動と集団活動を織り交ぜた計画書を作成し、計画に沿った支援を行っている。	今後も続けていく。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		朝のミーティング時に職員間で、その日の支援内容や役割分担を確認し、児童の対応にあっている。	重要な項目についてはメモを全員の目に付く所に貼るなどの配慮をしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		必ず共有を行っている。	共有した内容についてはその都度の再確認も忘れず行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個別記録の記入、ミーティング、日頃の特記事項などに記入して打ち合わせ時に検証し改善に繋げている。	再確認の話し合いを持ち、検証・改善につなげるように努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6ヶ月ごとにモニタリング会議を行い、達成度を確認しながら継続か新規目標かを決めて計画書作成をしている。	事例をあげながら、どの程度の見直しが必要か具体的な内容の把握に努めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%		その児童の状況に応じた様々な体験を活動に取り入れて、今の育ちが充実できるような支援をしている。	その児童に応じた「自立支援と日常生活の充実」「多様な遊びの体験」「地域交流」「主体的な参画」の活動の強化を図る。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		普段より児童に考えさせる声掛けも徹底している。→気づきを持たせる。	自分で考えて行動できるような育ちの環境を整えていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		管理者、児童発達管理責任者が参画して情報共有している。	持ち帰った情報は職員全員で共有し、全員の理解を深めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		教育等の関係機関とは連携して行っているが地域、障害福祉などは行っていない。現在は保護者を通して行うことが多い。	こちらから発信できるよう努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		できる範囲で行っているが学校によって異なっている。保護者を通してが現状。	学校との連携を強化していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	児童発達支援事業所とはできているが保育園や幼稚園、認定こども園とはできていない。	保育園や幼稚園、認定こども園との連携も強化していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	50%	50%	まだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	今後取り入れていく予定。	今後は管理責任者や児童発達管理責任者だけでなく、職員全員が参加できるようにしていきたいと考えている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	今後取り入れていく予定。	放課後児童クラブや児童館との交流を再開できるように努めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	参加出来たり出来なかったりで定着はしていない。	今後は積極的に職員が参加できるよう努めていく。
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時や連絡帳を通して必ず行っている。	強化していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%	保護者会、参観日の実施。	今後も家族支援プログラムの実施や保護者会、参観日を行っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明して、ご理解をいただいている。変更時には文面でお伝えしている。	ご理解いただけるように説明をしていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		保護者とは面談を行い、事前にアセスメントシートや子供の様子を記入してもらっている。子供とは聞き取り時間を設けている。	今後も続けていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		計画書をお渡しする時には内容を説明して必ず手渡ししている。	今後も続けていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的な面談以外に、様々な場で保護者の話を聞く機会を持ち、支援と助言に取り組んでいる。	今後も続けていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	保護者会、参観日の実施。きょうだい同士の交流の機会は設けられていない。	保護者会、参観日の実施は今後も続けて行っていく。きょうだい同士の交流を設けられるよう努める。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		現在はないが苦情があった場合は県境に受け止め、その事案に職員が迅速かつ適切に対応し保護者の不安解消に努めている。	今後も苦情がないように努めていく。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		定期的にInstagramにその時の活動の様子を載せて見てもらえるようにしている。	今後も継続して行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に説明して、ご理解をいただいている。職員には研修を行っている。	今後も続けていく。ご不明な点はその都度お伝えしていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子供には視覚支援など本人にとって分かりやすく伝え、保護者には時間を気にせず連絡できるようにLINEでの連絡を有効活用している。	今後も続けていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	以前は季節の行事や各イベントで交流を図っていたが現在はできていない。	再開できるよう努めていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		それぞれのマニュアルを作成し周知徹底を行っている。また、事情に応じ見直しを行い保護者への連絡も密に行っている。	引き続き、各マニュアルの周知徹底を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		感染症発生時と自然災害発生時の計画書を作成し、方針・役割分担・対応などを職員全員に周知徹底を行っている。	引き続き、方針・役割分担・対応などの周知徹底を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時のフェイスシートやアセスメントシートで確認している。	今後も続けていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		契約時のフェイスシートやアセスメントシートで確認している。	今後も続けていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		毎日のヒヤリハットの内容を確認し、職員全員で危険察知に取り組んでいる。	強化していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明してご理解いただいている。	今後も続けていく。ご不明な点はその都度お伝えしていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		日報に記入欄を設け、職員全員で共有して、対策や危険察知に取り組んでいる。	強化していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を行っている。何でも話せる風通しの良い職場作りを心掛けている。	強化していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	75%	25%	契約時に説明している。施設としての理念・方針などが記載された指針を来所時に閲覧出来るように掲示している。	ご不明な点はその都度、説明してご理解を得るように努める。